

# 令和2年度 主要・新規事業

“ひと”づくり・“いえ”づくり・“まち”づくり

市民といっしょに<sup>あす</sup>未来の蒲郡を創ります



## 蒲郡市

蒲郡市では、令和2年度予算よりSDGsの達成に向けた、施策展開を図っていきます。また、主要・新規事業の項目にSDGsで掲げる17の目標について、施策ごとに、関連する主要な目標を掲載します。

## ※SDGs (Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に統合的に取り組むための国際社会全体の開発目標。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 事業内容一覧

## 1 子どもファースト

- 子どもファースト



1
- 子どもファースト



2
- 子どもファースト



3
- 子どもファースト



4

・ 子どもの心と体の健康に携わる養護教諭支援員を配置します

・ 小中学校規模適正化方針を策定します

・ 子どもの医療費助成（入院）を高校生等まで拡大します

・ ひとり親世帯・生活困窮世帯を対象とした学習支援を拡充します

## 2 スポーツ・文化

- スポーツ・文化



5
- スポーツ・文化



6
- スポーツ・文化



7

・ 市民体育館の耐震・長寿命化工事を行います

・ 公園グラウンド野球場観覧場等の耐震補強を行います

・ 学校体育施設の開放を拡充します

## 3 居場所づくりによる生きがいづくり

- 居場所づくりによる生きがいづくり


8
- 居場所づくりによる生きがいづくり


9
- 居場所づくりによる生きがいづくり



10

・ ケアラー手帳で介護者の方を支援します

・ 障がい児・者に対する日常生活用具等の  
給付種目及び給付対象を拡充します

・ 多文化共生社会の実現に取り組みます

## 4 市民の“いのち”を守る

- 市民の“いのち”を守る



11
- 市民の“いのち”を守る


12
- 市民の“いのち”を守る


13
- 市民の“いのち”を守る



14

・ 全庁的に健康化政策を推進します

・ 女性のためのミニ人間ドックを開始します

・ 市民病院の電子カルテシステムを更新します

・ 電気自動車等を導入し災害時の防災機能を強化します

・河川の浸水対策に取り組みます



1 5

・高齢者向けに安全運転支援装置の設置を促進します



1 6

## 5 シティセールス

・官民一体で市の魅力を発信します



1 7

## 6 地場産業などの振興

・農業者を支援する新たな助成制度を始めます



1 8

・漁業者を支援する新たな助成制度を始めます



1 9

## 7 地球温暖化対策等

・次世代自動車の普及を促進し、地球温暖化防止に努めます



2 0

・ユトリーナ蒲郡を安全・快適な施設に改修します



2 1

## 8 その他

・RPA・AIを活用し、業務の効率化を図ります



2 2

・SGチャレンジカップを開催します



2 3

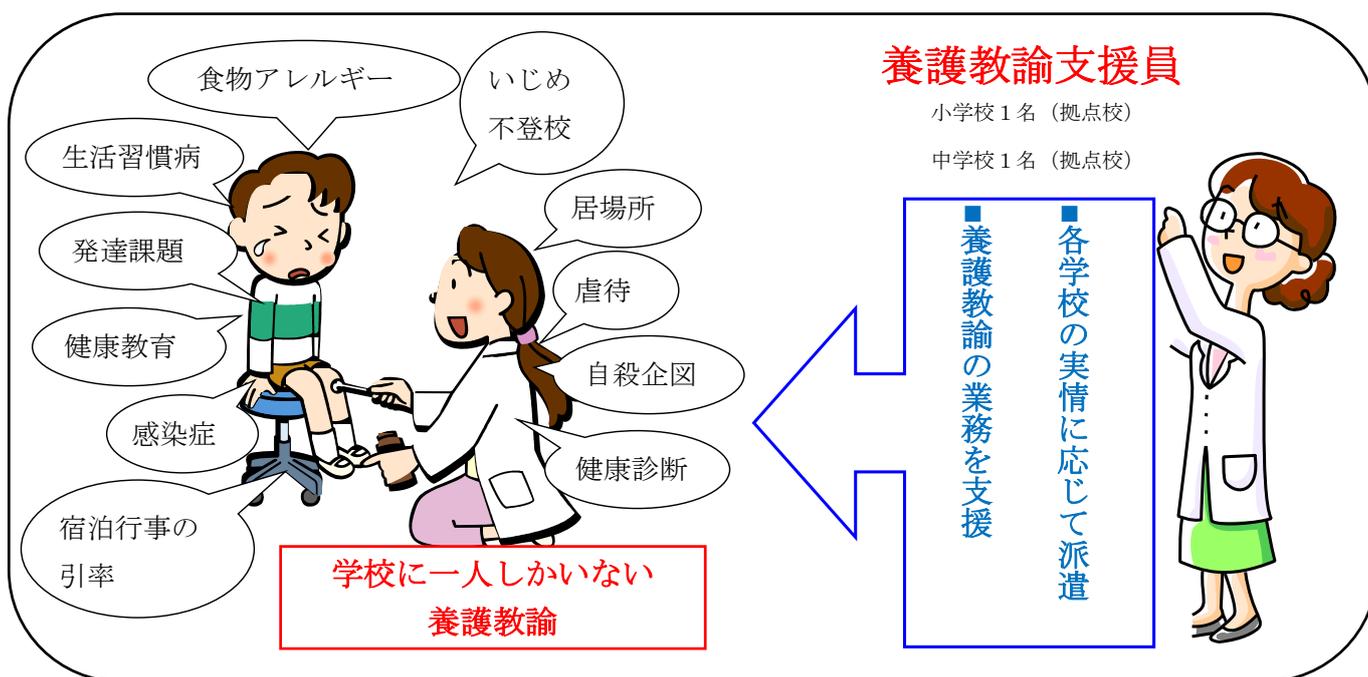
子どもファースト

# 子どもの心と体の健康に携わる 養護教諭支援員を配置します



小中学校における養護教諭の業務を支援し、学校の保健安全体制を強化します。

事業費：4,561 千円（財源内訳：一般財源 4,561 千円）



導入予定日：令和2年4月1日から

配置人数：2名

配置場所(拠点校)：小学校1名、中学校1名

設置理由

子どもたちの健康問題は、生活習慣病や食物アレルギー、薬物乱用や性に関する問題、感染症、いじめや不登校、自殺、虐待に関する問題等、多岐にわたる上、深刻さを増しています。また、修学旅行等宿泊行事の引率や部活動の大会養護等、学校を不在にすることもあります。養護免許を有する支援員を拠点校に配置し、養護教諭業務への支援体制を強化します。

問い合わせ先

教育委員会学校教育課

電話：0533-66-1165 メール：gakko@city.gamagori.lg.jp

子どもファースト

# 小中学校規模適正化方針を

## 策定します



蒲郡市の未来を拓く教育推進会議を開催し、学校規模適正化方針案を策定します。

事業費：1,257 千円（財源内訳：一般財源 1,257 千円）



今後ますます少子化が進展し、学級数の減少も想定される状況にあります。本市の将来を担う子どもたちにとって望ましい学校教育環境について、蒲郡市小中学校規模適正化方針を策定し、子どもたちの「生きる力」を育む礎を築いてまいります。

計画の策定手順につきましては、蒲郡市の未来を拓く教育推進会議を4回開催し、パブリックコメント、教育委員会議などを経て蒲郡市小中学校規模適正化方針を策定してまいります。方針を策定することにより、今後の小中学校の在り方について市民に提示したいと考えております。

**会議名：**蒲郡市の未来を拓く教育推進会議

**会議構成員：**大学教授、学識経験者、小中学校校長会、PTA、総代連合会から推薦された方

**会議の開催：**5月、7月、9月、11月の4回開催予定

**計画内容：**学校規模について適正基準を示し、その基準に照らして発生が予想される課題に対する具体的な対応方法・手順を盛り込む予定です。

問い合わせ先

教育委員会庶務課

電話：0533-66-1166 メール：shomu@city.gamagori.lg.jp

子どもファースト

# 子どもの医療費助成(入院)を 高校生等まで拡大します



入院医療費助成を高校生等（18歳に達した年度末）まで拡大します。

事業費：6,361千円（財源内訳：一般財源6,361千円）

10月から

高校生等の入院医療費を助成します。

18歳に達した年度末までの方が対象です。

※ 所得制限はありません。

学生でない方、配偶者のある方も対象です。



導入予定日：令和2年10月診療分から

対象者：市内在住で、18歳に達した年度末までの医療保険加入者

（学生でない方、配偶者のある方も対象です。所得制限はありません。）

入院医療費助成を、心身障害者医療、母子家庭等医療、精神障害者医療で受給可能な方は除きます。

助成の範囲：入院に係る医療費のうち、保険診療分の自己負担額

助成方法：医療機関の窓口でいったん自己負担額を支払われた後に、保険年金課で申請をしていただきますと、後日指定の口座に振り込みます。

新たな受給者証の発行はありません。

※ 加入されている健康保険組合等からの高額療養費等の支給確認後の申請となります。

問い合わせ先

市民福祉部保険年金課 福祉医療担当

電話：0533-66-1102 メール：nenkin@city.gamagori.lg.jp

子どもファースト

# ひとり親世帯・生活困窮世帯を 対象とした学習支援を拡充します

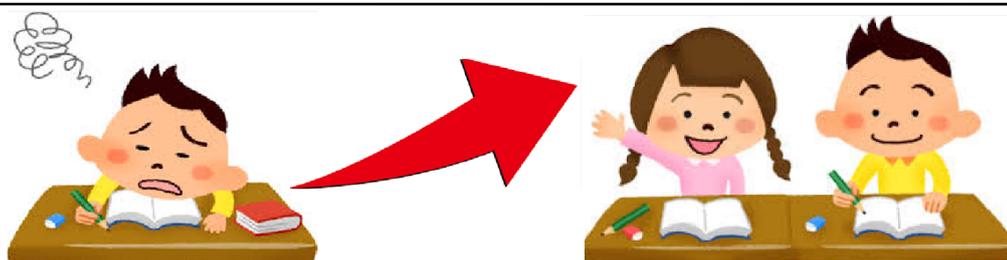


ひとり親世帯の学習支援事業を実施します。

事業費：911 千円（財源内訳：県補助金 682 千円 一般財源 229 千円）

生活困窮世帯の学習支援事業対象者を拡大します。

事業費：1,709 千円（財源内訳：県補助金 854 千円 一般財源 855 千円）



精神面や経済面での理由が原因で思うように勉強ができず、また、塾に通うこともできない児童・生徒に気軽に参加できる学習会を開催し、教育格差の解消を図ります。

学習習慣の定着等の学習支援、基本的な生活習慣（挨拶・掃除等）の習得支援や生活指導を行います。

## <ひとり親世帯>

対象者：市内在住のひとり親世帯の

小学3年生から中学3年生までの児童・生徒

開催日時：原則毎週火曜日

午後7時～9時（予定）

開催期間、開催場所、申込方法その他の詳細につきましては、下の問い合わせ先までご連絡ください。

## <生活困窮世帯>

対象者：市内で就学援助の認定を受けた世帯の

小学3年生から中学3年生までの児童・生徒

※令和元年度までは小学4年生から小学6年生までが対象でしたが、これを拡大します。

開催日時：毎週土曜日

午前9時30分～午前11時30分

開催期間、開催場所、申込方法その他の詳細につきましては、下の問い合わせ先までご連絡ください。

## 問い合わせ先

（ひとり親世帯向け学習支援について）市民福祉部子育て支援課 児童福祉担当

電話：0533-66-1108 メール：kosodate@city.gamagori.lg.jp

（生活困窮世帯向け学習支援について）市民福祉部福祉課 生活保護担当

電話：0533-66-1104 メール：fukushi@city.gamagori.lg.jp

スポーツ・文化

# 市民体育館の

## 耐震・長寿命化工事を行います



市民体育センター競技場と管理棟の耐震・長寿命化改修工事を行います。

事業費：706,900 千円

(財源内訳:国庫補助金:145,670 千円 繰入金:117,430 千円 市債:443,800 千円)



### 安全・安心な施設

施設の耐震性を確保するとともに、屋上・屋根、壁面等の老朽化した箇所の改修を行います。



### 競技環境の充実

競技環境の充実のため、競技用の床面をフローリングから塩ビシートに改修し、照明をLEDに更新します。また、新たに空調設備を設置します。



### 利用環境の充実

敷地内駐車場の拡張に加え、既存駐車場を再整備します。加えて、ロビートイレの全面改修やエレベーター・車いす用観覧席の設置等、利用しやすい環境を整備します。

工期：令和2年7月から令和3年8月末（予定）

総工事費：1,749,660 千円

(令和2年度：693,800 千円、令和3年度：1,055,860 千円（債務負担行為）)

関連経費：市民体育館耐震・長寿命化改修工事監理業務委託料 31,000 千円

(令和2年度：12,400 千円、令和3年度：18,600 千円（債務負担行為）)

市民体育館内部廃棄物撤去委託料 700 千円

関連工事：市民体育センター第1弓道場改修工事 19,800 千円

浜町テニスコート夜間照明設置工事 33,900 千円

その他：工事に伴い施設の利用制限を予定しています。

問い合わせ先

教育委員会体育課 体育振興担当

電話：0533-66-1222 メール：sports@city.gamagori.lg.jp

スポーツ・文化

# 公園グラウンド野球場観覧場等の 耐震補強を行います



公園グラウンド野球場観覧場と管理棟の耐震補強工事を行います。

事業費：254,900 千円

(財源内訳：国庫補助金 18,980 千円 一般財源 235,920 千円)



## 安全・安心な施設

観覧場及び管理棟の耐震性を確保します。令和元年度実施のスコアボード電光掲示板化等と合わせ、競技面の充実と観客の安全性・利便性を向上します。

工期：令和2年7月から令和3年3月末（予定）

工事費内訳：観覧場耐震補強工事 207,900 千円、管理棟耐震補強工事 47,000 千円

その他：工事に伴い施設の利用制限を予定しています。

問い合わせ先

教育委員会体育課 体育振興担当

電話：0533-66-1222 メール：sports@city.gamagori.lg.jp

スポーツ・文化

# 学校体育施設の開放を 拡充します



学校体育施設開放事業の開放施設、開放種目及び利用機会を拡充します。

事業費：4,148 千円 （財源内訳：一般財源 4,148 千円）



## 開放施設の拡充

スポーツ機会の拡大や市民体育館の改修工事中のスポーツ活動場所の確保のため、新たに西浦中学校の体育館を開放します。



## 開放種目の拡充

各学校の体育館及び運動場の開放種目を拡充します。  
(例：サッカー利用が可能な学校が6校から13校に拡充)



## 利用機会の拡充

小中学校の開放回数の制限を廃止するとともに、小中学校運動場のナイター利用期間を通年に拡充します。

**事業内容**：気軽にスポーツを楽しんでもらうため、市民（同年代の仲間同士や、地域の指導者と子どもたち等）に学校教育に支障の無い範囲で学校施設、備品等を無料（照明料別途）で利用していただく事業。

**開放施設**：市内小中学校20校（全小中学校）及び県立高校2校（蒲郡高校、三谷水産高校）

※令和2年度から西浦中学校体育館を新規開放

**その他**：事前に団体の利用登録が必要になります。

問い合わせ先

教育委員会体育課 体育振興担当

電話：0533-66-1222 メール：sports@city.gamagori.lg.jp

居場所づくりによる生きがいづくり

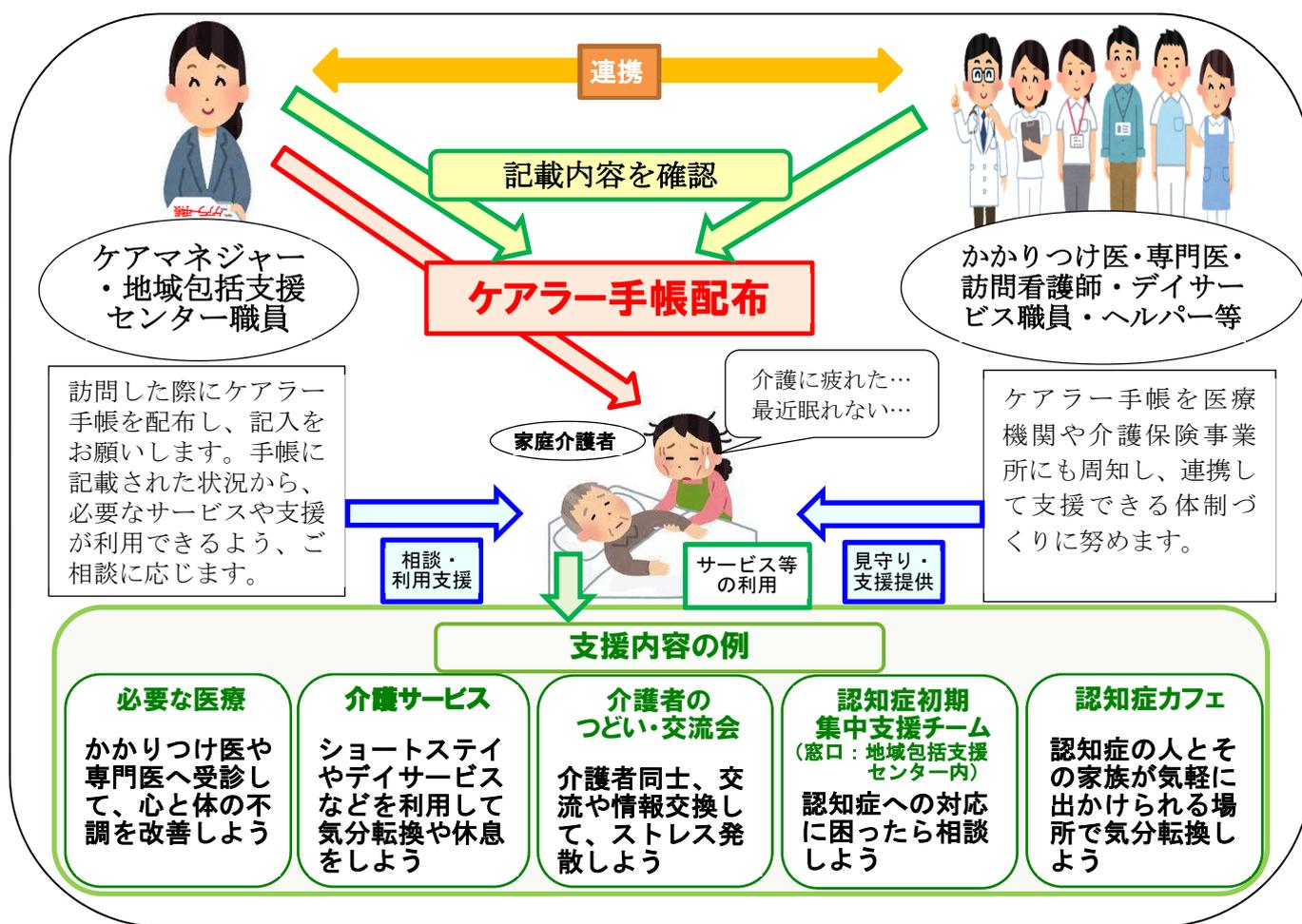
# ケアラー手帳で 介護者の方を支援します

3 すべての人に  
健康と福祉を



ご家庭で介護している方の心身の状態を記載できる「ケアラー手帳」を配布します。

事業費：1,000 千円（財源内訳：諸収入 1,000 千円）



配布開始予定日：令和2年9月頃

配布対象者：要介護・要支援認定を受けている方を、市内の家庭で介護している方等

配布方法：ケアマネジャーや地域包括支援センターの職員等が家庭訪問した際に手渡して配布

問い合わせ先

長寿課 地域包括ケア推進室

電話：0533-66-1105 メール：choju@city.gamagori.lg.jp

居場所づくりによる生きがいづくり

# 障がい児・者に対する日常生活用具等の給付種目及び給付対象を拡充します



新たに人工鼻（じんこうばな）を給付種目に加えます。

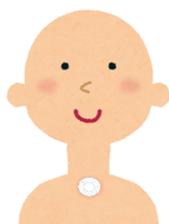
また、点字ディスプレイの給付対象を拡充します。

事業費：23,000 千円

（財源内訳：国庫補助金 7,130 千円 県補助金 3,220 千円 一般財源 12,650 千円）

## 障がい児・者日常生活用具等給付事業

在宅の重度障がい児・者の日常生活がより円滑に行われるために、申請に基づき、定められた用具を給付又は貸与し、福祉の増進に資することを目的とした事業です。



人工鼻（じんこうばな）

新設

人工鼻（じんこうばな）とは、喉頭摘出者が喉元に開けた永久気管孔に取り付けるもので、加温・加湿等、鼻の機能の代わりの働きをする器具です。



点字ディスプレイ

対象を拡大

現行

拡充後

視覚障がい2級以上かつ  
聴覚障がい2級の  
重複障がいの方

視覚障がい1級の方  
又は  
視覚障がい2級かつ  
聴覚障がい2級の方

点字ディスプレイとは、携帯型端末で、点字キーで作成したデータをパソコンに接続することで漢字仮名交じりのテキスト文書が作成できます。また、入力した内容やパソコン上の画面情報を点字に変換して、端末の点字ピンを浮き立たせて表示することができ、音声読み上げ機能も付いています。

〈人工鼻〉

対象者：音声機能喪失者（喉頭摘出者）

基準額：23,760円/月

〈点字ディスプレイ〉

対象者：視覚障がい1級の者又は視覚障がい2級かつ聴覚障がい2級の者

基準額：383,500円

問い合わせ先

市民福祉部福祉課 障害福祉担当

電話：0533-66-1106 メール：fukushi@city.gamagori.lg.jp

居場所づくりによる生きがいづくり

## 多文化共生社会の

# 実現に取り組みます

10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



全市型日本語教室、多文化共生プラン、外国人向け生活ガイドブック作成  
中学生向け人権講座を実施します。

事業費：4,263 千円（財源内訳：諸収入 3,150 千円 一般財源 1,113 千円）

### 全市型日本語教室



令和2年1月1日現在の外国人住民の比率は4.1%（3,251人）、ここ5年で1.5倍に急増しています。多文化共生社会の実現には、外国人が地域住民としての生活を送れるよう、日本語および日本社会に関する学習支援が必要です。

国際交流協会ボランティアの方々により運営されている日本語教室と連携を図りながら、日本語教育環境の強化に取り組んでまいります。

また、多文化共生社会実現の政策指針となる多文化共生プランを策定してまいります。

#### ●外国人向け生活ガイドブックの作成について

市における生活ルールを知ってもらうことで住民同士のトラブルを防ぎ、地域住民の一員として共に暮らしやすい環境を整えていくためのガイドブックを作成します。

ごみ出しマナーや日本人の生活習慣、公共施設の利用方法等、日常生活に必要な情報を冊子にまとめ、在住外国人の多いフィリピンの言語をはじめ6ヶ国語に翻訳し、市役所での転入手続き時に配布していきます。

#### 問い合わせ先

企画部協働まちづくり課 多文化共生担当

電話：0533-66-1179 メール：kyodo@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

# 全庁的に

# 健康化政策を推進します



全庁横断的に組織されたプロジェクトメンバーが健康政策を企画し、市民の健康づくりを応援します。

事業費：3,488 千円（財源内訳：一般財源 3,488 千円）

野菜ファーストの推進

健康カレンダーの作成

メタボ人形の作成  
メタボメジャーの配布

体重測定 100 日チャレンジ普及

受動喫煙防止の普及啓発

新規



## 双太山公園を楽しく歩ける健康ロードにリニューアル

- ・ 歩きたくなる路面表示
- ・ 階段の消費カロリー表示
- ・ 運動強度別ウォーキングコース（初級・中級・上級 3コース）



整備内容：看板リニューアル（2か所）・階段の段差にカロリー表示

ウォーキングコース（3コース：①短距離・②中距離・③長距離+階段）

路面表示（ウォーキングコース案内、理想の歩幅がわかる足跡など）

完成予定：令和2年10月頃

問い合わせ先

市民福祉部健康推進課 健康づくり担当

電話：0533-67-1151 メール：hoken@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

## 女性のための

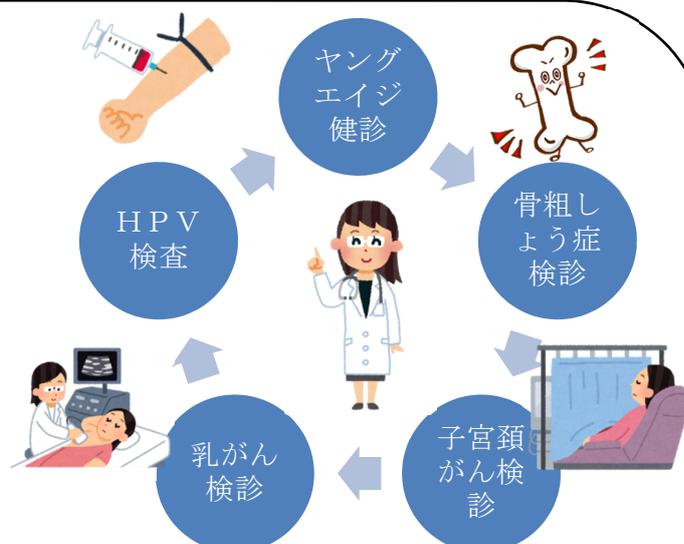
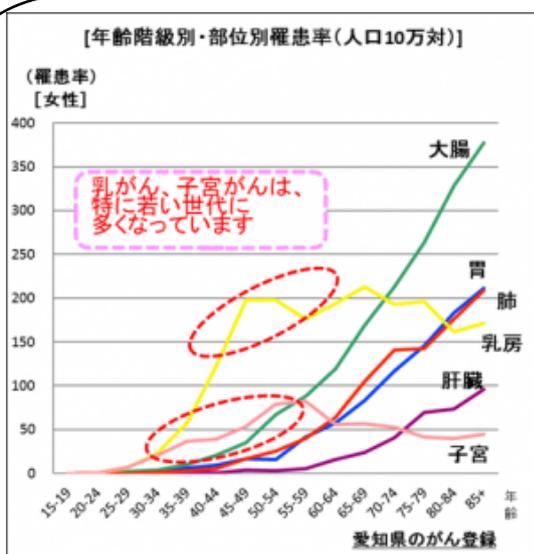
# ミニ人間ドックを開始します

3 すべての人に  
健康と福祉を



女性特有の疾患を若い頃から早期に発見し健康寿命を延ばします。

事業費：13,068 千円（財源内訳：一般財源 13,068 千円）



女性特有のがん「乳がん」「子宮がん」は20歳代から発症が増えます。骨粗しょう症の患者の8割は女性で、若いころからの予防が大切です。



1度に5つの健診・検診がセットで受診できます。診察、乳がん・子宮がん検診は女性スタッフが対応します。託児サービスがあるのでお子様連れでも安心です。

対 象：市内在住の35～39歳の女性（令和3年3月31日現在）（2回目からは隔年）

実 施 場 所：蒲郡市保健医療センター2階 蒲郡市医師会健診センター

内 容：診察、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、子宮頸がん検診・HPV検査（細胞診）、乳がん検診（超音波検査）、骨粗しょう症検診（腕の骨のレントゲン撮影）

受 診 人 数：400人（1回20人）

自己負担金：2,300円（市民税非課税世帯及び生活保護対象者は無料）

問い合わせ先

市民福祉部健康推進課 検診予防担当

電話：0533-67-1151 メール：hoken@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

# 市民病院の 電子カルテシステムを更新します

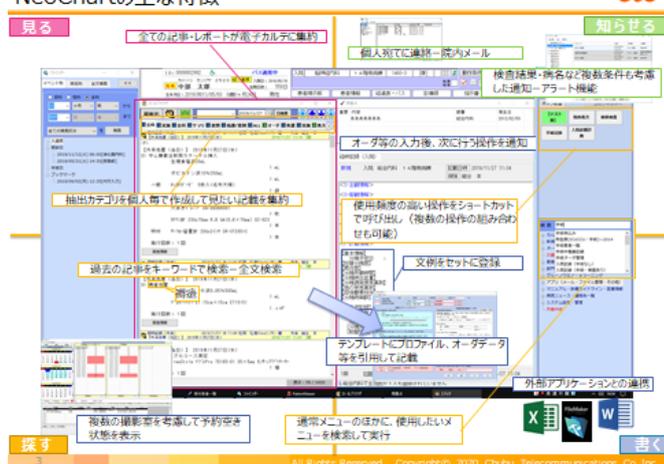
3 すべての人に  
健康と福祉を



市民病院の電子カルテシステム（H25.1月導入）を名古屋市立大学で利用されているシステムに更新します。

事業費：912,981 千円（財源内訳：企業債 910,000 千円 一般財源 2,981 千円）

NeoChartの主な特徴



## カルテの共通化による 病院間連携の強化

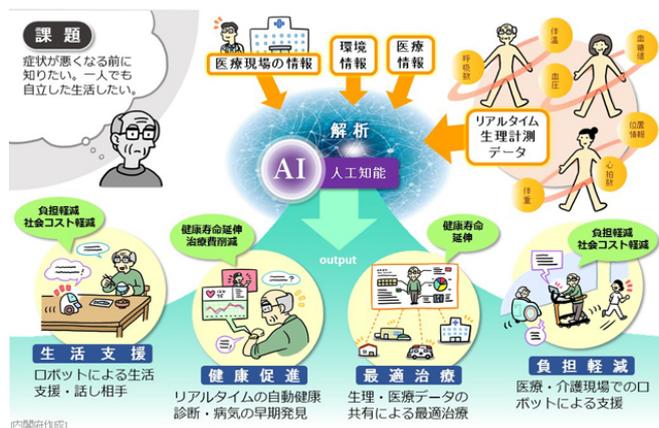
名古屋市立大学病院で利用されている電子カルテシステムと同じシステムを導入することにより病院間連携を強化。現場の医療職が最大限利用しやすい電子カルテシステムへの更新により、患者さんにより良い医療の提供を図ります。

Society 5.0 新たな価値の事例（医療・介護）

## ICT 活用に向けた準備

国が電子カルテ情報の標準化・共有化をすすめている点を考慮し、将来的なビッグデータやAI技術の活用を土台となるデータベース構築に向けた準備・検討を行っていきます。

**Society 5.0 とは：** 内閣府の科学技術政策サイバー空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の新たな未来社会として提唱



導入予定日：令和3年1月1日

更新内容：電子カルテシステム、部門システム、サーバー、クライアント端末及び周辺機器など

問い合わせ先

蒲郡市民病院 医事課

電話：0533-66-2200 メール：hospiji@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

## 電気自動車等を導入し

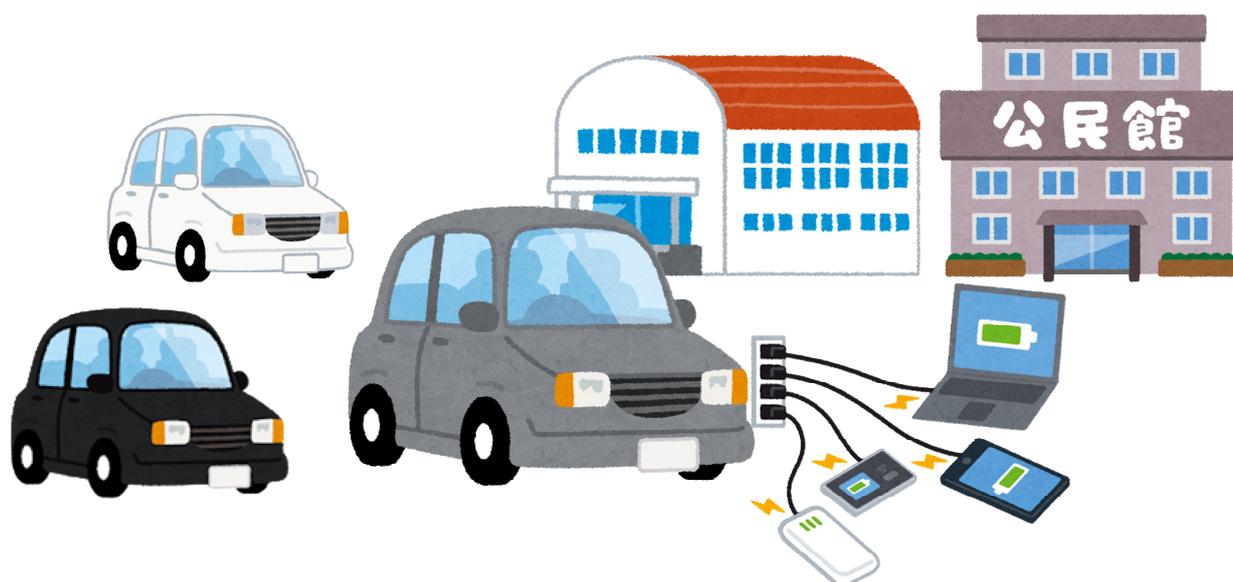
### 災害時の防災機能を強化します



電気自動車や燃料電池自動車の導入にあわせて、外部給電器の「パワー・ムーバー」を購入し、災害時における移動式電源として活用します。

事業費(電気自動車購入費) :6,113 千円(財源内訳 : 一般財源 6,113 千円)

事業費(避難所等資機材整備費) :2,145 千円(財源内訳 : 一般財源 2,145 千円)



電気自動車や燃料電池自動車は、災害時に「移動式電源」として活用することができます。災害等により大規模停電が発生した際には、市が指定する避難所へ電気自動車等を配備し、外部給電器の「パワー・ムーバー」を接続して、電気自動車等から電気を供給します。

導入台数 : 電気自動車2台 (予定)、燃料電池自動車1台 (P20掲載)、パワー・ムーバー3台

使用方法 : パワー・ムーバーを搭載した電気自動車等(電気自動車2台、燃料電池自動車1台)が避難所を巡回し、各種家電の稼働や携帯電話の充電など、生活に必要な電気を供給します。  
また、災害時だけでなく、各種屋外イベントなどの幅広いシーンで活用することが可能です。

問い合わせ先

総務部防災課 防災担当

電話 : 0533-66-1208 メール : bosai@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

## 河川の

# 浸水対策に取り組みます



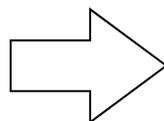
河川内を浚渫し堆積土砂等を撤去することで、豪雨や台風による浸水対策を行います。

事業費： 53,700 千円（財源内訳：一般財源 53,700 千円）



実施前

河川内の堆積土砂や雑草が、水の流れを妨げています。



実施後

堆積土砂等が取り除かれ、水の通り道が確保されています。

実施期間：令和2年6月～12月（予定）

実施場所：西田川、落合川、尺地川、天神川（予定）

※水が流れる断面積に対して堆積土砂等の占める割合が多いところから浚渫していく予定です。

問い合わせ先

建設部土木港湾課 工事担当

電話：0533-66-1134 メール：doboku@city.gamagori.lg.jp

市民の“いのち”を守る

# 高齢者向けに安全運転支援装置の 設置を促進します

11 住み続けられる  
まちづくりを



市内在住の高齢者（65歳以上）の方を対象に安全運転支援装置設置費（後付け）に対する補助を実施します。

事業費：8,000千円（財源内訳：県補助金4,000千円 一般財源4,000千円）



近年、増加する高齢者のペダル踏み間違い時の事故を抑制するため、後付け装置の普及を目的とし、設置に掛かる費用に対する補助を実施します。

区 分		補助制度
補助対象装置		国の性能認定制度（先行個別認定を含む）で認定された後付けのペダル踏み間違い急発進等抑制装置
補助額	市から個人	個人支払額の4/5 〔 障害物検知機能付 上限 32,000 円 〕 〔 障害物検知機能なし 上限 16,000 円 〕
対象高齢者		65歳以上の運転免許保有者

補助対象期間：令和2年4月1日から令和3年2月28日まで

対象者：市内在住者であり、65歳以上の方

対象車両：対象者が普段から利用している車であり、取り扱い事業者で取り付けの場合に限る

申込方法：市役所4階交通防犯課窓口にて申込

必要書類：交付申請書、設置したことがわかる書類等、運転免許証の写し等

注意事項：装置設置後に発生した事故及び損害等については、市はその責任を負いません。

※詳細な内容等については、周知チラシ及びホームページ等でお知らせいたします。

問い合わせ先

総務部交通防犯課

電話：0533-66-1156 メール：kotsu@city.gamagori.lg.jp

# 官民一体で市の

# 魅力を発信します



シティセールス推進方針の策定、ロケを通じたまちづくり事業、全国ご当地うどんサミットを実施します。

事業費：17,310 千円（財源内訳：一般財源 17,310 千円）



## シティセールス推進方針 の策定

シティセールスの推進のため、市の強み弱みを分析し、短期・中期・長期で取り組むべき施策を組み立て、官民で役割分担しながら一体となって進めていくための総合的な方針を策定する。

## ロケを通じたまちづくり 事業

シティセールスの推進にあたって効果の高い映画等のロケ誘致に取り組むとともに、ロケ後の誘客につながる施策など、ロケを通じたまちづくり事業を展開する。

## 全国ご当地うどんサミット の開催

全国大会 3 冠に輝いたガマゴリうどんのさらなる周知及び関係人口の創出等を目的とした市外からの誘客のため、全国ご当地うどんサミットを開催する。

### ・映画ゾッキ関連事業（ロケを通じたまちづくり事業）

令和 3 年の映画「ゾッキ」全国上映に向けて、ロケ地マップ作り、タイアップ商品の開発に取り組み、ロケを通じた地域活性化施策を官民連携で行います。

### ・全国ご当地うどんサミットの開催

第 10 回目となる全国ご当地うどんサミットを秋頃に開催します。

### 問い合わせ先

産業環境部観光商工課 シティセールス推進室

電話：0533-66-1225 メール：citysales@city.gamagori.lg.jp

地場産業などの振興

# 農業者を支援する

## 新たな助成制度を始めます



農地・施設・産地に伴う支援を行うことで、農業振興を図ります。

事業費：17,827 千円（財源内訳：一般財源 17,827 千円）

### 新規

耕作放棄地  
対策費補助金



耕作放棄地に認定された農地を貸借等する場合の費用を支援します。  
※耕作可能な状況へ原状復旧するための費用について農地面積あたり 50 円/m<sup>2</sup>を助成

### 新規

農業用施設  
整備費補助金



農業者が新規に導入する農業用ハウス施設の費用について支援します。  
※導入費用の 10%以内を助成

### 増額

樹園地改植支援  
対策事業費補助金



みかん果樹の老木から若木への改植に係る費用を支援します。  
※助成額を従来の 100 円/m<sup>2</sup>以内から 150 円/m<sup>2</sup>以内に増額

### 増額

柑橘マルチ栽培  
推進事業費補助金



防水性及び通気性の高い不織布の使用するみかんのマルチ被覆栽培の費用を支援します。  
※マルチ被覆資材に対して、導入費用を従来の 10%以内から 20%以内に増額

問い合わせ先

産業環境部農林水産課 農政担当

電話：0533-66-1126 メール：norin@city.gamagori.lg.jp

地場産業などの振興

## 漁業者を支援する

### 新たな助成制度を始めます



安定的な漁業が行えるよう、漁業用具整備に伴う支援を行うことで、水産業の振興を図ります。

**事業費：1,200 千円（財源内訳：一般財源 1,200 千円）**

#### 漁業用具整備事業費補助金



漁業者に対して漁網、マンガ、フロート類、ロープ類など漁具の購入費の一部を助成します。

※購入費の1/2を助成。

経営体ごとに1件あたり5万円から30万円までの上限あり。

市内の漁業経営体数は、平成25年の漁業センサスによれば、66経営体と、10年前の平成15年の95経営体から30.5%減少しており、燃油価格の上昇など経営環境の厳しさや水産資源の減少もあり、漁業者を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。三河湾に面した海のまち、がまごおりでありながら、今後、市内の漁港から水揚げされる魚介類が無くなるような深刻な状況にならないとも限りません。そのため本市の水産業の安定を図り、漁業が継続的に行われるよう漁業者への支援を行います。

問い合わせ先

産業環境部農林水産課 農政担当

電話：0533-66-1126 メール：norin@city.gamagori.lg.jp

地球温暖化対策等

## 次世代自動車の普及を促進し

## 地球温暖化防止に努めます



地球温暖化対策の一環として、燃料電池自動車を購入する方に対し、補助金を交付し、市も公用車として「MIRAI」を1台導入します。

事業費（補助金）：600千円（財源内訳：一般財源600千円）

事業費(公用車導入費)：8,008千円(財源内訳：国庫補助金2,020千円 一般財源5,988千円)

燃料電池自動車



(写真はトヨタMIRAI)

### 次世代自動車購入費補助金

補助額（1台）

車両本体価格×5%

(上限300,000円)

### 燃料電池自動車購入費

令和2年12月頃導入予定

通常公用車として市内を走行し、燃料電池自動車を市民の方々に知ってもらいます。

各種行事で展示会・試乗会を開催し、実際に触れていただきます。

災害時には「移動式電源」として活用します。

蒲郡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）では、温室効果ガスの削減目標を令和12年度に平成25年度比で26%削減することを目標としています。二酸化炭素排出量がゼロの燃料電池自動車を普及させることで、温室効果ガスの排出を抑制するとともに、クリーンエネルギーの効率的な利用を図るため、次世代自動車等の高度利用技術の普及を推進してまいります。

問い合わせ先

産業環境部環境清掃課 保全担当

電話：0533-57-4100 メール：kankyo@city.gamagori.lg.jp

地球温暖化対策等

# ユトリーナ蒲郡を 安全・快適な施設に改修します



市民の皆さんが安全・快適に利用できるよう改修工事を実施します。

事業費：44,200 千円 （財源内訳：一般財源 44,200 千円）

ユトリーナ蒲郡は、クリーンセンターで発生する余熱を有効利用し、市民の健康の保持及び増進を図るための施設として、平成12年7月にオープンしました。

バーデゾーンや浴室がある施設として、市民の方を中心に、多くの方にご利用いただいておりますが、建設から20年が経過するにあたり、将来にわたって安全・快適に利用できる健康増進施設を提供できるよう、この度、改修工事を実施いたします。



**改修期間**：令和2年9月から11月（予定）

**改修内容**：浴室床、エントランスホール床、ロッカー、バーデゾーンタイル、サウナ、トイレ、照明ほか

※改修期間中は休館となる予定です。

※期間は変更になる可能性があります。

問い合わせ先

産業環境部環境清掃課 清掃担当

電話：0533-57-4100 メール：seiso@city.gamagori.lg.jp

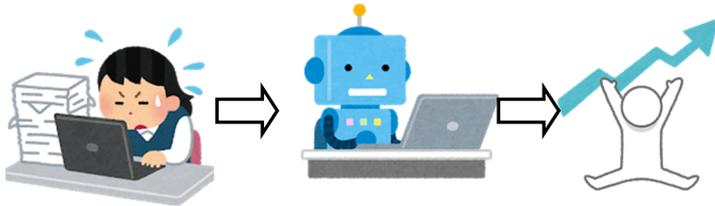
その他

# RPA・AIを活用し 業務の効率化を図ります



RPA、会議録作成支援システム、AI総合案内サービスを導入します。

事業費：16,859千円（財源内訳：一般財源16,859千円）



## RPA（パソコン作業の自動化）、 会議録作成支援

仕事の工程を改善し、業務の生産性を高めます。  
○RPA（ロボティックプロセスオートメーション）を取り入れ、パソコンを使った定型的業務を自動化します。  
○会議録作成時の音声文字起こし支援のため、AIを搭載した音声認識システムを導入します。



## AIを活用した 総合案内サービス

行政サービスについての問い合わせにAI（人工知能）が自動でお答えします。  
いつでもどこからでも、対話形式で質問できます。

### AIを活用した総合案内サービスについて

開始時期：令和2年11月頃

利用方法：①パソコンやスマートフォン等から市公式ホームページへアクセス  
②専用サイトから質問内容を入力（「住民票を取りたい」など）  
③即時に自動返答が返ってきます。

※皆様からの問い合わせにより、返答内容の精度を高めていきます。

問い合わせ先

総務部行政課 情報担当

電話：0533-66-1209 メール：joho@city.gamagori.lg.jp

その他

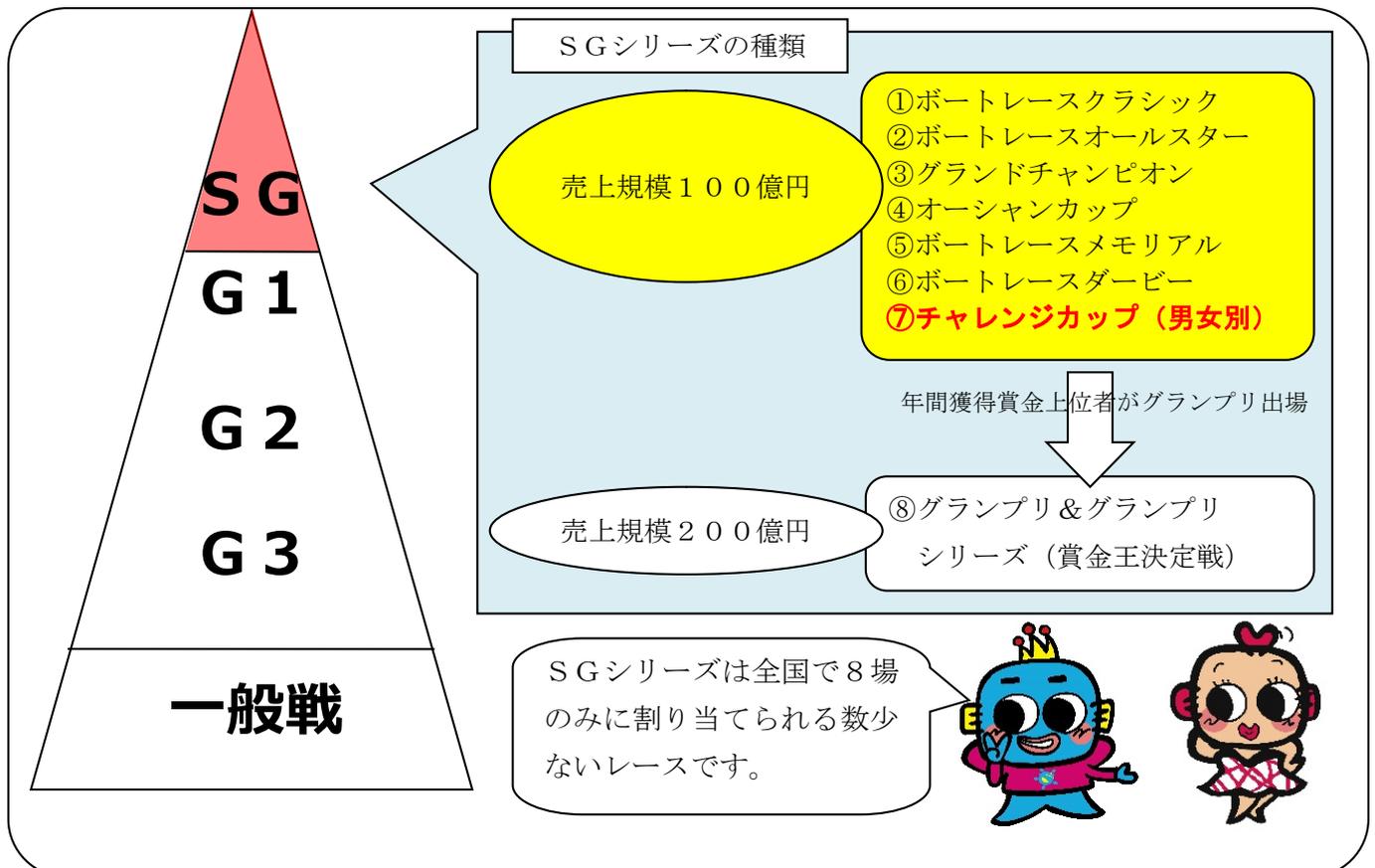
# SGチャレンジカップを 開催します

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



蒲郡初の開催（年末のグランプリ出場を賭けた最後の戦い）

発売収入：12,360,000 千円



開催日：令和2年11月24日（火）から11月29日（日）までの6日間

出場選手：10月末までの獲得賞金上位者

優勝賞金：3,300万円

来場者数：30,000人超（予定）

問い合わせ先

ボートレース事業部経営企画課 経理担当

電話：0533-67-6606 メール：kyotei@city.gamagori.lg.jp